
奈良県みんなでのしむ大芸術祭実行委員会 第3回総会 議事録（要旨）

- 1 日 時 : 令和5年2月21日（火）10時45分～11時45分
- 2 場 所 : 奈良県文化会館 地下1階 多目的室
- 3 出席者 : 荒井会長以下 実行委員会委員12名
- 4 議 事 :
 - 第1号議案 奈良県みんなでのしむ大芸術祭 令和4年度実施結果及び令和5年度実施方針
 - 第2号議案 奈良県みんなでのしむ大芸術祭令和5年度収支予算

資料に基づき、事務局より、最初に第1号議案について説明を行った。その後、第1号議案について採決を行い、全議案について全員一致で承認された。

次に、第2号議案について説明を行った。その後、第2号議案について採決を行い、全議案について全員一致で承認された。

なお、実施方針について各委員から以下のとおり意見があった。

▼イベント内容について

- ・みんな芸（奈良県みんなでのしむ大芸術）の本質は県民きらめきステージのような「参加型」イベントにある。障がいの有無等にかかわらず、多くの人に参加し、日頃の成果を発表する機会となるようなイベントを作り上げてほしい。
- ・ミュージックフェストならば、「上質な音楽の鑑賞」ということから「出演者」に注目が集まる。「参加型」のみんな芸は、出演者が多様なため、企画内容を工夫することが大切。例えば、出演者が準備段階から参加することができれば、より良いイベントになるのではないかな。

▼広報について

- ・県民きらめきステージについて、広報を充実させ、より集客につなげていただきたい。
- ・SNSは運用の仕方が大切。広報ターゲットを絞るなど、戦略的に実施していく必要がある。

▼イベント満足度について

- ・イベントの満足度が高い、というのは将来性があるということ。認知度を高めることだけでは無く、イベントの内容を充実させて、コンセプトを実行していくことが大切。
- ・イベントを見に来た人に全体アンケートを取るだけでなく、例えばビッグ幡 in 東大寺に作品を応募した人や、実際にイベントに出演する人の個々の思いを知り、反映していくことで参加者の満足度も高めていくことが大事である。

▼その他

- ・県で取り組んでいる「福祉のまちづくり」などは地域の中で多様性を認め合って共生しようという考え。地域の中で芸術へ参加できる場所をつくっていくことが、地域における共生にもつながる。

以上